

パソコン技能検定マニュアルB（6級から初段）

1 事前準備

- ① 6級からは問題用紙を見ながら、パソコン入力画面に同じ文章を入力します。したがって、**検定開始前に問題用紙を印刷します**。画面下の検定問題のタグから、〇級問題を選び印刷画面を開き印刷します（カラー、モノクロいずれも可）。問題は各級5種類あるので、適宜選んで準備します。



児童・生徒は、入力する画面と同じ問題用紙を見ながら、入力画面に文字を入力します。

- ② 児童・生徒を所定のパソコンの前に着席させます。
- ③ パソコンを起動します。

パソコン入力技能検定.xlsx

ダブルクリック

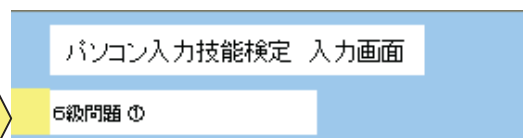


級別	むずかしさ	目付	台数
初級	40字以内の文章 全部で260文字 漢字レベル0		
1級	30字以内の文章 全部で210文字 漢字レベル0		
2級	30字以内の文章 全部で210文字 漢字レベル1		
3級	20字以内の文章 全部で160文字 漢字レベル1		
4級	20字以内の文章 全部で160文字 漢字レベル2		
5級	15字以内の文章 全部で100文字 漢字レベル2		
6級	15字以内の文章 全部で100文字		
7級	5文字の単語		
8級	2～3文字の単語		

パソコンの起動技能は、パソコン入力技能検定では問いませんが、起動できる児童・生徒は自分で行わせます。

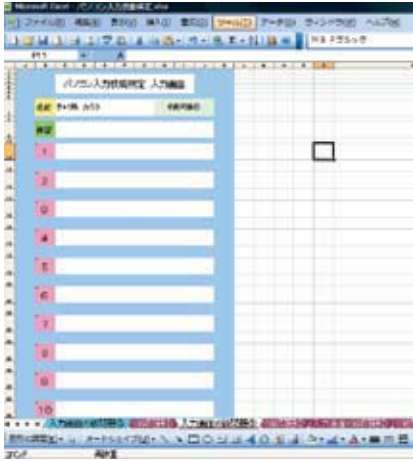
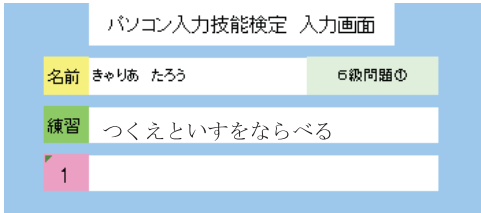
※必要であれば、教師が「かな・ローマ字」入力設定をしてください。

- ④ 各児童・生徒の受検する級と問題番号が合っているかどうかを画面で確認し、必要があれば表示を修正します。



- ⑤ 教師は「コンピュータに触らないでください。」と指示し、児童・生徒が触れないようにします。

2 説明および練習

児童・生徒の活動	教師の活動（「」内は指示）
<ul style="list-style-type: none"> パソコンを操作せず、教師の指示を聞き、やることを理解する。  <ul style="list-style-type: none"> 入力練習を行う。  <ul style="list-style-type: none"> 入力を終えて、次の指示を待つ。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 問題用紙を配布する。 ② 「これから説明をします。」 ③ 「問題用紙と同じように文章を入力します。」 「入力方法は『ひらがな入力・ローマ字入力』のどちらでもかまいません。」 「ひらがなはひらがなのまま、漢字は漢字の通り正確に入力してください。」 ④ 「画面の『名前』『練習』欄を使って入力練習をしてみてください。時間は3分間です。」 ⑤ 3分間、計時する。 ⑥ 「練習をやめてください。」 <p>※ 練習時の入力の誤りがあれば、指導してもよい。</p>

3 技能検定 15分間の入力を行う

児童・生徒の活動	教師の活動（「」内は指示）
<ul style="list-style-type: none"> 指示を聞いて入力を始める。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 「これから検定を始めます。」 ② 15分間の計時を行う。

4 終了

児童・生徒の活動	教師の活動（「」内は指示）
<ul style="list-style-type: none"> 指示を聞き入力をやめる。 退席・退出する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 15分経ったら、 「手をキーボードから離してください。」 ② 全員の入力終了を確認し、 「これで検定を終わります。」 ③ 児童・生徒に退席・退出の指示を出す。

<留意事項・6級から初段>

- ◇ 採点は、「問題入力判定用シート※下記の採点基準を参照」をプリントアウトした上で実施する。
プリントアウトの操作は教師が行い、検定時間には含めない。
- ◇ 今後の指導に生かすなどの理由により、受検者の解答を保存する場合は、教師が行う。